



①前夜祭ではアマチュアバンド15組が出演し、まつりを盛り上げました ②窪田毅上川総合振興局長が来町され前夜祭であいさつ ③オープニングを飾った大乗会のカヌー「みこし隊」 ④レディース100年の森～森のクラフトで松ぼっくりなどで作品を作る子どもたち ⑤にぎわう野外ステージ ⑥「吉川忠英&嵯峨治彦」ギター&のど唄の調べ ⑦「博多華丸・大吉」お笑いステージ ⑧「ミラクルひかる」ものまね歌謡ショー ⑨艶やかな「石上久美子」オン・ステージ ⑩幾寅・金山保育所園児による「ヨサコイソーラン」 ⑪久美ちゃんと千里大学生とゆかいな仲間の合唱団 ⑫町内女性団体の皆さんによる「湖水音頭」 ⑬楽しいカヌー体験試乗会 ⑭力の入ったカヌーばんば選手権大会 ⑮応援も熱の入った「丸太切り大会」 ⑯好評だったどぶろく「白金山」レインボーカクテル ⑰町振興公社・農産物直売所「作倶楽」による特産品販売 ⑱子どもたちに人気だったコイケヤポテトチップスが当たるガチャガチャ ⑲食べたあなたが審査員—ワンハンドグルメ「エゾドック」総選挙 ⑳㉑地元産「はくちょうもち」の餅つきと無料配布 ㉒ ㉓巨大恐竜も登場し、大人気の「子どもランド」 ㉔祭典のフィナーレを飾った「花火大会」

「南ふらのマルシェ」

「子どもランド」

わがまちの一大イベント「第40回かなやま湖太陽と森と湖の祭典」が7月30日と31日の2日間、かなやま湖畔キャンプ場で開催され、多彩な催しに観光客らが多数訪れ、賑わいをみせました。

30日の前夜祭では、第4回ロック・フェスティバル「かなやま湖・ミュージック・ウェイブ」が開催され、本町をはじめ道内で活動するアマチュアバンド15組が出演し、熱いステージが繰り広げられました。31日に行われた「かなやま湖水まつり」は今年で40回の節目を迎え、南ふらのマルシェ（特産品の販売など）や子どもランドが登

場、11年ぶりにカヌーばんば選手権大会が復活し、ステージの催しも充実、来場者は昨年を上回る1万5千人を数え、夏の一大イベントを楽しみました。会場内には、東日本大震災義援金募金の設置や被災地応援Tシャツを着用した役員・関係者などが、まな板のチャリティオークションを行い、被災地の復興を応援しました。

大乗会の皆さんによるみこし隊が、オープニングを飾り、恒例の餅まきの後、ステージでは金山小学校児童によるソーラン節、幾寅小学校児童による鼓笛、南富良野中学校吹奏楽部や陸上自衛隊旭川第2師団音楽隊の特別出演による演奏や団体などの各種芸能発表、子どもたちに大人気の「それゆけ！アンパンマン」ショー、湖上ではボートクルージングやウインドサーフィン大会など訪れた皆さんは、盛りだくさんの催しを楽しみました。また、金山ダム見学会も大人気で、「光と音のアート」イベントが行われ、暗く静かなダム堤内が万華鏡と化し、幻想的な雰囲気に参加した皆さんは感動されていました。夕方からは、お笑いステージ・歌謡ものまねショーや本町出身の演歌歌手石上久美子さんのオンステージが繰り広げられ来場者を魅了しました。フィナーレを飾る花火大会では、「700メートルのナイアガラの滝」や約2千発の色とりどりの花火が夏の夜空を華やかに彩りました。

第40回かなやま湖 太陽と森と湖の祭典